

第3回

患者に寄り添う ～ 滞空 ～
痛むという「能力」について

日時：8月5日(日)14:00～16:30

参加費：1,000円

※ 終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。

ケアの営みは、限りあるいのちを生きる私たち人間が、その「弱さ」ゆえに与えられた豊かな可能性です。しかし私たち一人ひとりが、ケアを見つめ、引き受けていかなければ、その豊かさは容易に損なわれ、見失われてしまうでしょう。

本年度の講座では、昨年度の「ケアの哲学入門」に引き続き「ケアとは何か」という根本的な問いを大切にしながら、人生の様々な場面に即して、いったいどのような「ケアの姿勢」が私たちの生（いのち＝暮らし）をつなぎ、支えていくのかを、様々な角度から一緒に考えてまいります。

2018年第3回目の今回は、東京衛生病院でチャプレンをなさっている永田英子さんのお話を伺います。「まず、病院という特殊な場所での出会いから、見えてきた「すべての人の中にあるスピリチャリティ」という確信に近いものについてお話しします。そして、それゆえに「聴く」こと、つまり「滞空」がどれほど難しいことであるかをご一緒に考えます。また、「滞空」の中で経験する「逃げたい」という感覚は、一瞬であったとしてもケアする者ががっかりさせますが、この時に経験する痛みこそ、神に与えられている「痛む能力」であることについて分かち合いたいと思います。」

場所：文京区シビックホール会議室 1・2

東京都文京区春日 1-16-21

文京シビック(文京区役所) 3F 03-5803-1100

【アクセス】 東京メトロ後樂園駅・丸ノ内線(4a・5

番出口) 南北線(5番出口) 徒歩1分

都営地下鉄春日駅三田線・大江戸線(文京シビックセンター

連絡口) 徒歩1分

<http://bunkycivichall.jp/access>

★【要申込】★

・申込フォーム

<https://goo.gl/forms/BH9FLBOVLUOHWGP32>

FAX

050-3737-2636 後藤哲男 宛て

主催：ベグライテン 関根 090-9146-6667 ミシュカの森 入江 ANA71805@nifty.com

<http://begleiten.org/><https://www.facebook.com/mforest/><https://www.facebook.com/begleiten2/>

共催：ケアと公共を学ぶ会